

# 地域づくり団体全国大会

11月12日(金)~13日(土)にかけて、第28回地域づくり団体全国研修交流会青森大会の中泊町分科会が行われ、中泊町グリーン・ツーリズムの会「かけはし」が、総合文化センター「パルナス」を主会場に行いました。



## 11月12日(金)

今回の分科会へは、南は沖縄・九州から、北は岩手まで、いろいろな場所からの参加で、特に南方から参加された人々には、当町の寒さが少しこたえたようです。

### ■意見交換会

参加者は到着するなり、さっそく意見交換会で意見交換。この意見交換会には、かけはしのほか、町の地域づくり団体「起きて夢見る会」や「のれ！それ！中里実行委員会」も加わって、自分たちの現状や将来展望などを語り、お互い刺激になる有意義な意見交換会となったようです。

### ■漬物づくり体験・マグロ解体ショー

1時間強の意見交換会が終わったあとは、町のいいところを体験してもらおうと、さまざまな催しが行われました。まず行われたのは漬物づくりの体験。この日作られたのはヤーコン入りの“と漬”で、通常大根を使うところを、ヤーコンを使うことで、少し甘みが増したおいしいと漬ができあがっていました。続いては当町おなじみのマグロ解体ショー。今回の解体ショーでは、参加者が中落ちを割り取る体験も行い、マグロを肌で感じるショーだったようです。

### ■夕食交流会・夜なべ談義

マグロが解体されると、それを肴に今度は夕食交流会がスタート。マグロのほかには、かけはしが精魂込めて作った手作りの郷土料理も振る舞われ、ホテルなどで出される料理とはまた違った味わいのせいか、参加者には大好評でした。交流会が終わったあとも、宿泊場所のふれあいセンターに場所を移し、夜なべ談義がスタート。すっかり打ち解けたかけはしと参加者たちは、ここでも大盛り上がり。後半は、沖縄の参加者の呼びかけで“オトリー”と呼ばれる沖縄伝統の回し飲みが始まり、それぞれのお国自慢、方言自慢大会のような様相を呈し始め、交流は夜遅くにまで及びました。

## 11月13日(土)

### ■小説「津軽」の像記念館・金多豆蔵人形劇

13日は当町の観光名物を見学する日程で、最初に小説「津軽」の像記念館を見学。記念館に納められた貴重な資料を見学し、参加者は興味深げでした。次は、中里地域に舞戻って「金多豆蔵人形劇」の鑑賞。全編津軽弁の人形劇に、参加者には少し戸惑っていましたが、テンポのよい語り口と人形操作テクニックに、参加者は時折歓声を上げ、津軽の伝統を堪能していました。

### ■津軽鉄道ストーブ列車

そして、いよいよフィナーレとなる津軽鉄道ストーブ列車へ乗車。ちょうどお昼時ということもあり、お弁当が振る舞われ、かけはしが最後のおもてなし。レトロな車両と温かい人情に触れた参加者は、心地よい思い出を胸に津軽五所川原駅に到着し、それぞれの帰途につきました。



## 参加者のこえ

全国から参加いただいた19人。全員から分科会の感想と町へのメッセージをいただいています。



衛藤 剛  
(熊本県)  
今まで生きてきて最高！  
おもてなしがすごくよかったです。  
またぜひ来たいと思います。



江崎 孝俊  
(熊本県)  
最高のおもてなしに感動。  
(かけはしの会)自分たちも楽しみながらやっている。  
楽しんでやるのが、うまく続ける秘訣だと思った。



村本 志朗  
(石川県)  
人の温かさを感じた。  
今までは青森といえば弘前だったけど、今は青森といえば中泊です！



川満 尚喜  
(沖縄県)  
もてなしの気持ちが出来なかった。  
南の島では体験できないことをいろいろ経験させてもらった。  
(中泊は)何も無いというが、人の温かさがある。



栄 圭介  
(熊本県)  
前夜祭からいろいろな食材を堪能した。  
手作り料理が特においしく、来年全国大会を開く私たちが手作り料理を出そうと思っていたので、自信になった。



宮川 武晴  
(熊本県)  
来年の全国大会で、私たちがこんなおもてなしができるのかな？と思った。  
タラの煮しめが特においしく、マグロより食べました(笑)



荒木 貢  
(熊本県)  
言葉がだいぶ分からなかったが、親しみを覚えました。  
方言はおもしろいですねー。  
寒かったけど、人情で暖めてもらった感じです。



森平 健一  
(熊本県)  
今回参加して感じたのは、かけはしの女性たちが、地域を何とかしようと楽しく明るくやっていること。  
人形劇は、躍動感があっただけでおもしろかったです。



千葉 功己  
(青森県)  
かけはし、町職員の方のおもてなしに感動です。  
この分科会を契機に、ますますの中泊町発展を祈っています。



三好 康午  
(愛媛県)  
料理の味が薄味で、自分の好みに合ってたんです。  
食事のうまい、まずは、旅の印象に大きく関わるので、本当によかったです。



玉石 輝典  
(和歌山県)  
自然環境が厳しい中でも、工夫してがんばっている感じがする。  
こういう団結力は見習わなければならないと思いました。



岡田 光弘  
(鳥取県)  
日本の原風景。心の原風景。  
日本人の心のふるさと。厳しい冬あり、春の温かさあり、春が来ない冬はない。  
こういう風土で育った人々との旅は楽しい。



佐々木 紳了  
(岩手県)  
初めて飛び地合併の現場に来たが、住民同士は互いに刺激になって逆がいいのかなと思った。  
何とかしようというかけはしを見て、皆さんから元気をもらった。



千葉 正吾  
(岩手県)  
かけはしの必死にがんばる姿には感動した。  
接客、配膳もそうだが、特にもてなしをしようという気持ちに感動した。  
満足です！



高橋 典雄  
(岩手県)  
タベ(12日)は11時までつきあってくれたあと、後片付けや朝食のために早起きしてくれたり、また最後の青森駅まで来てもらって、本当に感謝しました。



浦川 福一  
(岩手県)  
かけはしの一生懸命さに感激!!  
組織的に動いていて、活動が盛り上がっているなと感じた。  
せっかくなので盛り上がっているのを、維持・継続してほしい。



狩野 雅之  
(群馬県)  
一生忘れない。いい思い出。  
景色もいいし、自然も豊かなので、これを強みにして生かせればと思います。  
料理には心がこもっていました。



狩野 孝久  
(群馬県)  
津軽鉄道に乗れるとは思ってなかったのがよかったです。  
群馬は海がないので、マグロの解体ショーがよかったのと、夜なべ談義が楽しかったです。



鈴木 正朗  
(岩手県)  
グリーン・ツーリズムでは私たちが少し先を行っていると思いましたが、皆さんもこれから立ち上げる話があったので、第4の産業としてがんばってほしい。



中泊町グリーンツーリズムの会「かけはし」  
会長 神 かづ子

昨年、全国大会に参加してきましたが、何よりも夜なべ談義が心配でした。  
こちらは女性だけで、参加者はみな男性ということもあり、話が弾まなかったらどうしようと考えていました。

でも、青森市での前夜祭から、自由に話せる雰囲気になったおかげで、スムーズに進めることができました。  
参加された皆さまに感謝です！

今回の分科会開催で、長く活動がんばる元気を皆さまにいただきました。  
本当にご参加ありがとうございました。

“わど、など、けやぐ!!”(私とあなたたちは友達です!!)